

みずほCustomer Desk Report 2017/11/02 号(As of 2017/11/01)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	113.65	1.1651	132.44	0.9979	1.3290	0.7659
SYD-NY High	114.28	1.1657	132.85	1.0038	1.3321	0.7696
SYD-NY Low	113.61	1.1606	132.35	0.9972	1.3240	0.7649
NY 5:00 PM	114.19	1.1618	132.69	1.0030	1.3250	0.7676
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)			7.4/7.775	$\Delta 25RR$	0.628	Yen Call Over

NY DOW	23,435.01	57.77	債券市場	日本2年債	-0.1490	1.1bp
NASDAQ	6,716.53	▲ 11.14		日本10年債	0.0610	▲ 1.0bp
S&P	2,579.36	4.10		米国2年債	1.6119	1.2bp
日経平均	22,420.08	408.47		米国5年債	2.0182	0.2bp
TOPIX	1,786.71	20.75		米国10年債	2.3721	▲ 0.7bp
ソコ日経先物	22,550.00	325.00		独10年債	0.3730	1.0bp
ロンドンFT	7,487.96	▲ 5.12		英10年債	1.3430	1.1bp
DAX	13,465.51	235.94		豪10年債	2.7040	3.5bp
ハンセン指数	28,594.06	348.52	為替市況	USD/CNH	6.6090	▲ 0.0234
上海総合	3,395.91	2.57		ドルインデックス	94.82	0.26
USDJPY 3M Vol	8.27	0.07%	商品市況	CRB指数	187.942	0.38
USDJPY 6M Vol	8.77	▲ 0.07%		NY金	1,277.30	6.80
EURJPY 3M Vol	7.61	▲ 0.06%		WTI	54.30	▲ 0.08
EURJPY 6M Vol	8.83	▲ 0.09%		Dubai Spot	59.41	0.62

東京	東京時間のドル円は113.65レベルでオープン。日経平均株価が前日比大幅高で寄り付くと、月初特有の実需フローも散見される中でドル円は仲値にかけて113.90付近まで上昇。この日、米下院にて税制改革法案の公表が予定されていたものの、共和党内での交渉に時間を要するために翌日(2日)に延期するとのヘッドラインが出るも、市場への影響は限定的。午後に入り、日経平均が一段と上昇する中、ドル円は114円台を試す展開には至らずとも113円台後半までの底堅い展開。引けにかけてはややレベル下押しされ一時113.64まで軟化。その後、すぐに値を戻す展開となり結局113.82レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は113.82レベルでオープン。複数の欧州系銀行の第3四半期決算が発表され、好調な利益率と債務再編等が示されたことで、欧州株が堅調に推移。114.06レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.3280レベルでオープン。英10月製造業購買担当者景気指数(PMI)が56.3(予想:55.9)、と上方改定された前回値56.0から上昇したことが好感され1.3321まで上昇。その後は、英中銀副総裁がEU離脱後の英金融業について7.5万人の失職との予測について「妥当」との見解を示したことから、小幅に下落し1.3298レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.1637レベルでオープン。欧州株は堅調に推移したが、本日のNY時間に発表されるFOMC声明を控え、独10年債と米10年債の利回り差が4月以来の水準付近まで拡大したことが重石となり、オープンレベルを小動きする展開。結局1.1638レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルフリー 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	海外時間は、円売り優勢となる中ドル円は113円台半ばから114円台まで上昇し、114.06レベルでNYオープン。朝方発表された米10月ADP雇用統計が予想を上回ったことや、米株が高値寄りしたことを好感しドル円は高値114.28まで上昇。しかし、ピッツイベントを多く控える中で一段とドル買いを進める動きとはならず、その後発表された米10月ISM製造業景気況指数が予想を下回り、内訳も雇用指数が低下していたことから113円台後半まで下落。その後も米株が上げ幅を縮小させる展開にドル円は113.87まで軟化。その後行われたFOMCでは予想通り政策金利を据え置きとなり、発表直後は113.75まで一時的に下押しされるも、米経済の拡大ペースについて「今年に入ってから緩やか」から「ハケンの被害にもかわらず堅調」と上方修正され、次回12月会合での利上げをサポートする内容となったことから、114.24まで反発。その後は、下院の税制改革案の発表や、次期FRB議長人事の発表を翌日(米東部時間午後)に控えて114円台前半での推移が続いたが、引け間際の米紙による「トランプ大統領はパウエル氏をFRB議長に指名する予定」とのヘッドラインを背景に113.95まで下落。同人事は市場の予想通りであることから、結局114.19レベルまで戻しクロスした。一方ユーロドルは1.16台半ば付近での小幅なレンジでの推移が続く。1.1638レベルでNYオープン。米金利上昇と共にドル買いが強まりユーロドルは1.1606まで下落。しかし、1.16台を割り込むにはいたらず、その後は1.16台前半での推移が続く。結局1.1618レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その旨を問わず無断で引用または複製することは禁じます。

担当：矢野・鶴田

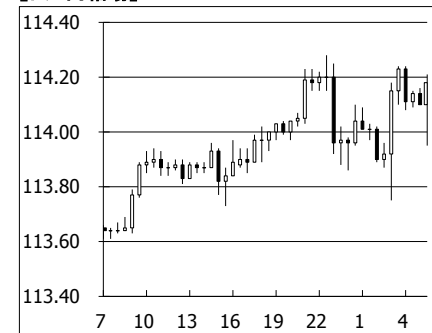
【昨日の指標等】

Date	Time		Event		結果	予想
11月1日	10:45	中	Caixin製造業PMI	10月	51.0	51.0
	14:00	日	中曽日銀副総裁 講演	-	-	-
	18:30	英	マークイット製造業PMI	10月	56.3	55.9
	20:00	米	MBA住宅ローン申請指数	-	-	-
	21:15	米	ADP雇用統計	10月	235K	200K
	22:45	米	マークイット製造業PMI-確報	10月	54.6	54.5
	23:00	米	ISM製造業景況指数	10月	58.7	59.5
11月2日	03:00	米	FOMC	-	1.00-1.25%	1.00-1.25%

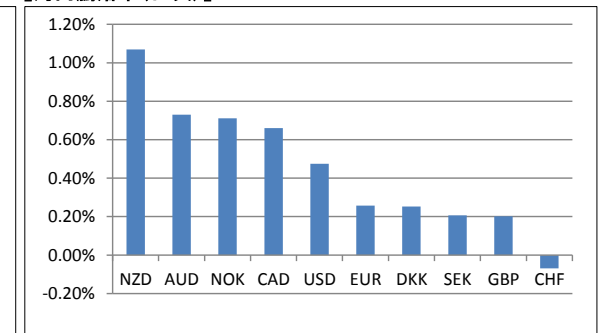
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回	
11月2日	09:30	豪 貿易収支	9月	A\$1,200M	A\$989M
	17:55	独 マークイット製造業PMI 確報	10月	60.5	60.5
	18:00	欧 マークイット製造業PMI 確報	10月	58.6	58.6
	21:00	英 BOE金融政策決定会合 政策金利	-	0.500%	0.250%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	235K	233K
	21:30	英 カーニーBOE総裁 記者会見	-	-	-
11月3日	21:30	米 パウエルFRB理事 講演	-	-	-
	01:20	米 ダドリー・ニューヨーク連銀総裁 講演	-	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.80-114.30	1.1600-1.1640	132.40-132.80

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は「確り」。10月ADP雇用統計が予想を上回る結果となったことからドル買いとなると、この日開催されたFOMCの声明文で景気に強気な見通しとなったことから米利上げ観測が強まったこともサポート材料となった。ただ高値では利食い売りから上値を押さえられる場面も見られたが、総じて確りの展開となった。本日はイベントを控え、方向感に欠ける展開を予想。FRB次期議長人事や米雇用統計の発表を控えていることから、市場参加者の様子見姿勢が強まろう。114円を挟んでの推移を予想。